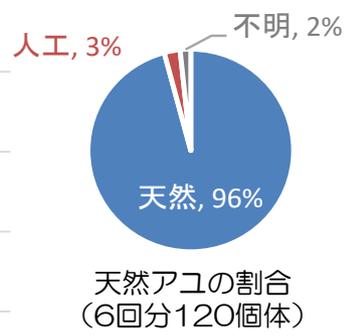
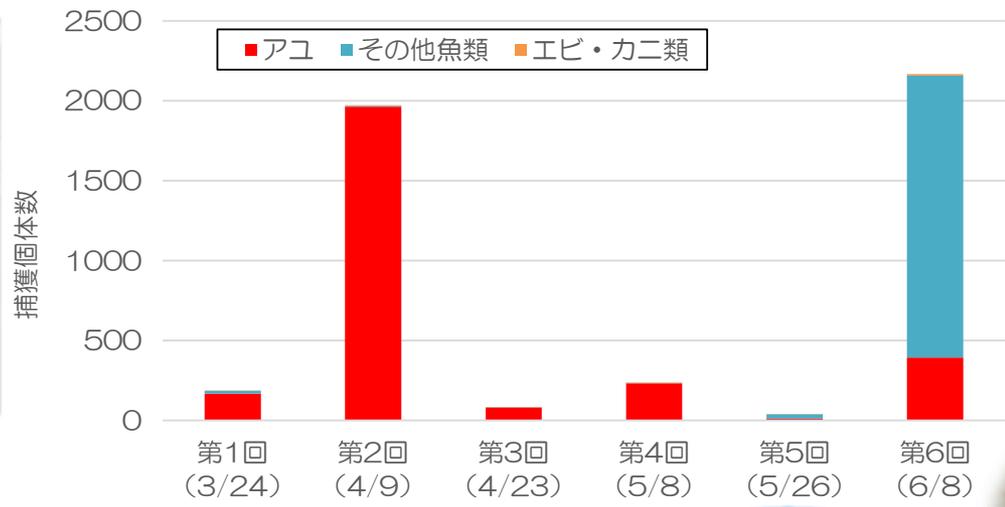




高瀬堰からのお知らせ(第21号)その1

高瀬堰の魚道にて遡上状況を調査しました(令和2年度速報)!

- ▶ 3月下旬~6月上旬の計6回の調査で、15種4,691個体の遡上を確認されました。
- ▶ このうち、アユが2,849個体と半分以上となりました。各調査のアユを20個体程度調べたところ、そのほとんどが天然で、人工飼育で放流されたものは5%以下でした。
- ▶ そのほか、6月にはウキゴリの仲間が多く確認されました。



河口域から
上がりました

アユ:
3月は8cmくらいでしたが、
6月には15cmくらいで遡上
しています。





高瀬堰からのお知らせ(第21号)その2

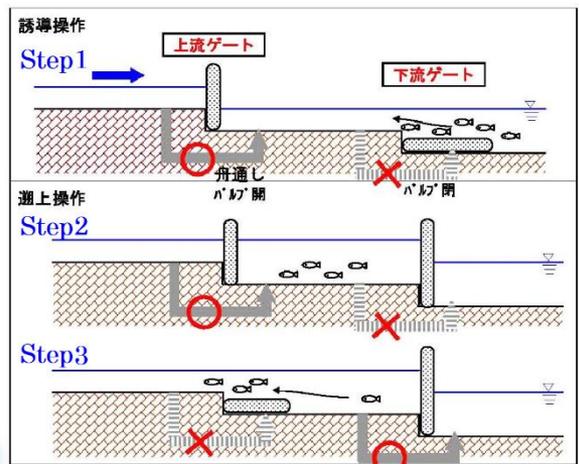
舟通しを魚道として活用しています！（令和2年度調査速報）

- 高瀬堰では、川底近くを利用するため魚道を上るのが苦手な魚やエビなどを対象に、左岸側にある舟通しを魚道として活用しています。
- 舟通しでは、カジカ中卵型、ヌマチチブ、ヨシノボリの仲間など、魚道ではあまり確認できない魚などが多く確認できます。
- 今回の調査では数が少ないですが、魚道と舟通しで同じ時期に調査した結果を比べると、その違いがわかります。



↑左岸魚道 ↑舟通し

魚道と舟通しを利用する種類の違い
 <魚道> 上流端に定置網を8時間設置
 令和2年3月25日
 令和2年4月9日
 <舟通し> 上流端に定置網を2時間設置
 令和2年3月24日
 令和2年4月8日

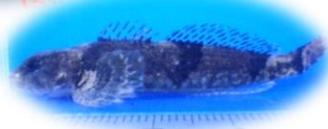


下流側のゲートから順番に開けて、上ってきた魚などを上流側へ移動させてあげています。

種名	魚道	舟通し
オイカワ	11個体 (50~82 mm)	4個体 (66~97 mm)
ウグイ	12個体 (40~310 mm)	16個体 (47~101 mm)
ニゴイ属	1個体 (64 mm)	
アユ	2,130個体 (64~105 mm)	9個体 (69~85 mm)
カジカ中卵型		2個体 (53~56 mm)
ヌマチチブ		2個体 (44~45 mm)
カワヨシノボリ		1個体 (57 mm)
スジエビ	1個体 (34 mm)	
モクズガニ	5個体 (12~21 mm)	227個体 (9~32 mm)



モクズガニ



カジカ中卵型



高瀬堰からのお知らせ(第21号)その3

堰の上流では、河口から上がってきた魚などを確認できます！

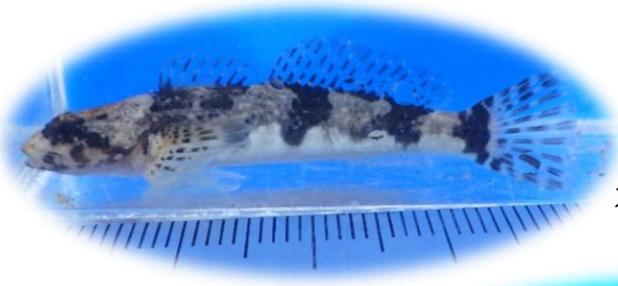
➤ 高瀬堰では、魚道や舟通しを使って魚などが移動できるため、堰の上流で河口から上がってきた魚などを確認することができます。



↑左岸魚道 ↑舟通し



↑右岸魚道



カジカ中卵型



シマヨシノボリ



スミウキゴリ



調査範囲



テナガエビ



モクズガニ

**堰の上流で確認された
河口域から上がってきた魚など**